

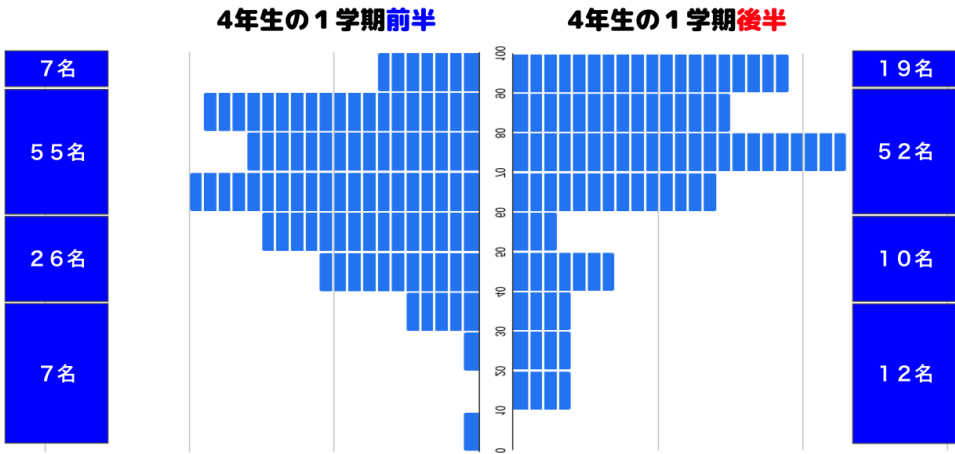
ひらめkey（算数通信）

— ひらめき+Key 「ひらめくカギは、心の中に」
算数専科 野村 伸

【「待つ」から「動く」への転換期。】— 4年生・成長の第1フェーズ —

右のグラフは、1学期前半と後半の単元テストの平均のヒストグラムです。上が100点で、下が0点となっています。メモリは10点単位です。グラフから見ると、全体的に得点が上がっています。しかし、まだ悩んでいる子、時間がかかっている子もいます。大切なのは「点数」の前に、「変化」が起きていることです。

4年生の1学期前半の単元テストの平均と
4年生の1学期後半の単元テストの平均のヒストグラム



時期	① 1学期 前半(4月～6月)	➡	② 1学期 後半(7月)
子どもの姿	<p>「受け身の姿勢」</p> <p>😞 分からないまま止まっている</p> <p>😞 先生が教えるのを待っている</p> <p>💧 教科書が終わらない...</p>	成長	<p>「自走の芽生え」</p> <p>👉 「ここ教えて!」と友達に聞く</p> <p>🏃 自分1人で解いてみる</p> <p>🏠 家で苦手な問題に再挑戦!</p>

1学期前半の子どもの姿と後半の姿が明らかに変わっています。もちろん、子ども一人一人の成長度合いやきっかけは、様々なため全員が同じように成長することは難しいです。そのため、成長を促進するために学期に2回ずつ自分に合う学び方や友達同士の学び合い方などについてのカウンセリングを行っています。

【お家の方へ: 今、できること】

✔「変化」を褒めてみてください。「テストの点数が上がったね」も嬉しいですが、「最近、家でも難問に挑戦してるね」「友達に聞きに行けるようになったんだね」と、行動の変化を言葉にしてみてください。